

May 22, 2015



ご対応ください: フォームに Microsoft Dynamics CRM Online 2015 アップデート 1 との互換性があるかどうかをテストしてください

{{organization.Name}} 様

今回は、重要な情報をお知らせします。Dynamics CRM Online 2015 アップデート 1 へのアップデートを計画する際にぜひお読みください。マイクロソフトは、お客様からのフィードバックを基に、フォームを読み込む際のパフォーマンスを向上する新しいフォーム レンダリング エンジンを導入しました。

この新しいフォーム レンダリングは、サポートされているすべての API と完全な互換性がありますが、サポートされていないスクリプトでは動作しない可能性があります。完全な互換性を確保し、ダウンタイムを最小限に抑えるには、[管理者とカスタマイザー向け新機能に関するページ](#)で、新しいフォーム レンダリング エンジンの詳細情報をご確認ください。また、フォームのテストに使用できる具体的な手順を以下に示します。

パートナー、開発者、IT プロフェッショナルの場合

新しいレンダリング エンジンには、大きな改良点が 2 つあります。その改良点とは、フォームを読み込む方法とキャッシュの処理方法です。以前はフォームを iframe に読み込み、その iframe を破棄したうえで、フォームがアクセスされるたびに iframe の再読み込みを行っていました。このアプローチの欠点は、パフォーマンスの問題が発生することです。今後は、カスタムのスクリプトやエンティティ固有のスクリプトを読み込む際、iframe や必要なリソースでの処理は行いません。カスタムスクリプトを実装する場合、スクリプトは別個の iframe に読み込まれ、iframe が閉じるときに破棄されます。

このアプローチでは、パフォーマンスは向上し、お客様のユーザーにも実感していただけます。しかし、これによって DOM 操作、iframe 内 URL へのアクセス、サポートされていない API へのアクセス、その他ウィンドウ関連の想定事項を含むサポートされていないカスタマイズが行われると、このアプローチは正常に機能しません。

フォームの正常な動作を維持するには、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. **新しいレンダリング エンジンの重要な詳細情報を確認する。** 変更点については、こちらの[ブログ記事](#)でご確認いただけます。
2. **準備する。** アップデートによって問題が発生する前に、サンドボックス インスタンスで環境を十分にテストします。
 - a. すべてのフォームをテストします。読み込めないものやスクリプト エラーが発生するものがある場合は、サポートされていないカスタマイズが行われている可能性があります。
 - b. [設定]、[管理]、[システムの設定] を順にクリックします。フォームを再テストする場合は、[Use legacy form rendering] (以前のフォーム レンダリングを使用する) チェック ボックスをオンにします。
 - c. 問題が解決した場合は、サポートされていないカスタマイズによってエラーが発生している可能性があります。

- d. エラー情報を取得して手順を再現し、カスタマイズを実装したパートナーまたは社内開発者と共有します。これにより、そのパートナーまたは社内開発者は、修正を加えて適切な互換性を確保できます。ご不明な点がございましたら、必要に応じてマイクロソフト サポートまでお問い合わせください。
3. **サポートされていないカスタマイズを修正する。** 潜在的な問題を検出する 1 つの方法として、[Custom Code Validation ツール](#)を使用できます。また、元のソリューション プロバイダーに連絡し、最新のソリューションを取得することも可能です。
4. **連携する。** 成功に向けて、パートナーやマイクロソフト チームを活用してください。

Dynamics CRM Online についてご紹介できることを大変嬉しく思っています。マイクロソフトはアップデートがお客様の環境で正しく機能することに真摯に取り組み、お客様をサポートします。今後も[フィードバック](#)をお寄せください。

よろしくお願いいたします。

Microsoft Dynamics CRM Online チーム



April 15, 2015



Microsoft Dynamics CRM Online 2015 アップデート 1 に向けてご準備ください

{{organization.Name}} 様

Dynamics CRM Online 2015 へのアップデートにおいては、お客様のビジネス ニーズにあわせてアップデートの日時を選定いただける形をとりました。今回のDynamics CRM Online 2015 アップデート 1 も同様にお客様にアップデートの日時を選定いただけます。

今回は、アップデート パスをさらに効果的に選択するための重要な情報についてお知らせします。

現在使用中の CRM Online のバージョンに基づいてインスタンスをアップデートするためにはどのようなアプローチが最適か、お客様から質問を受けることがよくあります。このよくある質問にお答えするために、TechNet のトピック「[Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理](#)」の下に新しいドキュメントをいくつか公開しました。お客様の組織に適切なアップデート シナリオを判断するのに役立ててください。

さらに、CRM Online のアップデート プロセスの強化点について紹介した[短い動画](#)もご覧いただけます。

アップデートを準備する 5 つの手順

- **理解する。** 機能全体の一覧については、「[CRM 2015 アップデート 1 リリース プレビュー ガイド](#)」をお読みください。
- **準備する。** 「[Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理](#)」をお読みください。
- **最新情報を得る。** 「[準備](#)」 ページをブックマークに登録し、定期的に最新情報を確認してください。

- **計画する。** 環境に導入する前に[新しいリリースをテストし](#)、ユーザーのトレーニングを実施し、アップデートを周知させてください。
- **連携する。** 新機能を使いこなすために、パートナーやマイクロソフト チームを活用してください。

Dynamics CRM Online についてご紹介できることを大変嬉しく思っています。マイクロソフトはアップデートがお客様の環境で正しく機能することに真摯に取り組み、お客様をサポートします。今後も[フィードバック](#)をお寄せください。

よろしくお願いたします。

Microsoft Dynamics CRM Online チーム



© 2015 Microsoft. All rights reserved. | [プライバシーに関する声明](#)

Microsoft

April 7, 2015



準備をすすめましょう: Microsoft Dynamics CRM Online 2015 Update 1

{{organization.Name}} 様

本日は、2015 Update 1 リリースの一環として提供される CRM Online のユーザー インターフェイス (UI) 強化についてご紹介します。展開を計画する際、貴社チームの準備にお役立てください。

ナビゲーション: 変更により、CRM の UI 間での移動がいっそう軽快になりました。この分野で強化された点は、次のとおりです。

- Sales (営業)、Service (サービス)、Marketing (マーケティング)、および Settings (設定) の各作業領域の間を移動しやすくなりました。
- 選択した作業領域の下に作業項目が表示されるようになったため、ダッシュボード、取引先企業、サポート案件などの項目を見つけやすくなりました。
- 最近の作業へのショートカットが新しく追加されました。このショートカットを使用すると、最近アクセスしたレコードやビューを手軽に表示でき、必要に応じて各項目に直接ジャンプすることもできます。

ナビゲーションに新しく追加されたこのような機能強化は、こちらの[短いビデオ](#)で紹介しています。詳細については、「[CRM での移動方法](#)」をお読みください。

テーマ: 機能で、Dynamics CRM Online をこれまで以上に自社仕様にできます。テーマについて強化された点は、次のとおりです。

- ロゴを追加して、ユーザーに親近感を覚えてもらい、貴社ブランドへの準拠を実現します。

- 貴社のスタイルに合わせて、メイン ナビゲーション、マウスオーバー項目、および選択項目のアクセントカラーを変更できます。
- 色の変更は、すべてのエンティティで可能です。設定についてはエンティティ メタデータで確認できます。
- 管理者は、テーマの公開前にそのテーマを容易にプレビューできます。また、テーマをエクスポートしたりインポートしたりすることで、再利用できます。

貴社のブランドに合わせて配色を変更する方法やロゴを追加する方法の詳細については、こちらの [ビデオ](#) をご覧ください。

フォーム: のレンダリングが大幅に向上しました。次の点にご注目ください。

- 新しく構築されたフォーム レンダリング エンジンが、極めて短時間でフォームの読み込みを実現します。互換性は維持されます。
- フォームのこのような変更によって、エンド ユーザーが影響を受けることはありません。なぜなら、以前のレンダリング エンジンと同じ機能、インターフェイス、および動作がエンド ユーザーに提供されるためです。変更されている機能は、ページの構造、データの読み込み方法、スクリプトの管理方法などです。
- サポートされていないカスタマイズは、強化されたフォーム エンジンで正常に機能しないおそれがあります。すべてのお客様に、お使いのカスタマイズ、ソリューション、およびスクリプトをテストして、強化されたフォーム エンジンでの正常な機能を確保することをお勧めします。

お使いのスクリプトがすべてのサポートされているブラウザで機能するかどうかに関する詳細については、「[Microsoft Dynamics CRM で Javascript を使用する](#)」をご覧ください。また、フォームのカスタマイズが推奨される手法に準拠していることを確認するには、「[フォームの作成および設計](#)」をご覧ください。

アップデートにむけて**準備する** 5 つの手順:

1. **理解する。**機能全体の一覧については、「[リリース プレビュー ガイド](#)」をお読みください。
2. **準備する。**「[Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理](#)」をお読みください。
3. **最新情報を得る。**「[準備](#)」 ページをブックマークに登録し、定期的に最新情報を確認してください。
4. **計画する。**環境に導入する前に[テストし](#)、ユーザーのトレーニングを実施し、アップデートについてのコミュニケーションを深めてください。
5. **連携する。**成功に向けて、パートナーやマイクロソフト チームを活用してください。

Dynamics CRM Online についてご紹介できることを大変嬉しく思っています。マイクロソフトはアップデートがお客様の環境で正しく機能することに真摯に取り組み、お客様をサポートします。今後も[フィードバックをお寄せください](#)。

よろしくお願いいたします。

Microsoft Dynamics CRM Online チーム



February 13, 2015



Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートに向けて ご準備ください

{{organization.Name}} 様

お客様がアップデートを実行する方法を向上するために、いくつかの点が強化されました。このため、Dynamics CRM Online のアップデートを成功させるための確かな計画を立てることが、さらに容易になりました。このアップデートによって、営業担当者とマーケティング担当者が連携し、貴社のユーザーにさらに魅力的なエクスペリエンスを提供することが可能になります。

お客様主導のアップデート プロセスの最新機能

- **より容易に計画:** CRM Online では、マイクロソフトが (1 つまたは複数の) お使いのインスタンスにアップデートを実行する日を 90 日前にご連絡します。指定された日がビジネス ニーズと一致しない場合、別の日をお選びいただくことが可能です。このプロセスの手順などについての詳細は、[「Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理」](#)をお読みください。
- **さらに柔軟な選択肢:** CRM Online では、土曜日のアップデートが可能です。土曜日の枠は限られ、"先着順" の形式となります。
- **さらなる統制:** アップデートを実行する前に、管理者の方にアップデートを承認していただく必要があります。詳細については、[「Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理」](#)をお読みください。

- **テスト性が向上:** 管理者の方が、実稼動環境のアップデートの前にサンドボックス インスタンスをアップデートするよう計画できるようになりました。CRM Online 管理センターでは、サンドボックス インスタンスと実稼動インスタンスのアップデート計画を 1 か所で確認することができます。
- **幅広く通知:** 管理者の方は、導入支援パートナーなど、より多くの関係者に通知が行くように設定できます。アップデートのプロセスで、パートナーにアップデートについて情報共有することは、成功への鍵です。このためには、各インスタンスに設定されている通知先にパートナーを追加することをお勧めします。追加されると、管理者でなくても通知を受け取ることができ、別のライセンスも必要ありません。 [電子メール通知の管理についてはこちらをお読みください](#)。

重要: 以前のアップデートに含まれている強化機能も、このアップデートで有効になります。

アップデートに備える 5 つの手順

- **理解する。** 機能全体の一覧については、「[リリース プレビュー ガイド](#)」をお読みください。
- **準備する。** 「[Microsoft Dynamics CRM Online のアップデートの管理](#)」をお読みください。
- **最新情報を得る。** 「[準備](#)」 ページをブックマークに登録し、定期的に最新情報を確認してください。
- **計画する。** 環境に導入する前に [新しいリリースをテストし](#)、ユーザーのトレーニングを実施し、アップデートを周知させてください。
- **連携する。** 新機能を使いこなすために、パートナーやマイクロソフト チームを活用してください。

テスト環境を用意

Spring '14 のアップデートで提供を開始したサンドボックス環境が、CRM Online のアップデートにも役立ちます。サンドボックス環境を利用してカスタマイズをテストした後に、運用環境をアップデートすることをお勧めします。 [詳細情報](#)

マイクロソフトはアップデートがお客様の環境で正しく機能することに真摯に取り組み、お客様をサポートします。「[準備](#)」 ページをご覧のうえ、ご不明な点がございましたら、パートナーまたは当社担当者チームまでお問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

Microsoft Dynamics CRM Online チーム

